

をお願いしたいと思う」と語った。

議案審議では、令和3年度事業報告承認の件ならびに収支決算報告承認の件、令和4年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)の審議が行われ、原案通り可決成立した。令和4年度事業計画では、東京都行政機関への建議と陳情ならびに防水専門工事団体としての位置づけの確立、技能検定の実施、防水施工に関する諸資格取得への指導及び推進、会員のための講習会・研修会の実施、都立工業高校授業への参画、ブロック会の推進などが盛り込まれた。

総会の終了後には、政界や関係官庁から多くの来賓を迎えて懇親会が催された。冒頭の挨拶で佐々木会長は「コロナ禍の中でも、当組合は活発な委員会活動を行い、様々な成果をあげてきている。その一つが、ものづくり大学の近藤先生と日本建築工上学会と共同して、既存の金属屋根断熱防水改修における指針を纏めた。金属屋根の改修は業界にとっても大きな需要の一つである。指針については5年ほど前から構想があったもので、今回、なんとか纏めることができた。これも近藤先生をはじめとする関係各位のおかげである。私の任期も残り一年となった。組合員とベクトルを合わせ、一つずつ着実な成果を積み重ねながら業界における実行部隊と呼ばれる組織として今後も引っ張っていききたい」と述べた。

続いて、ものづくり大学の近藤照夫名誉教授など業界関係者のほか、政界の方々の来賓挨拶が行われた後、全防協の有山幸治郎副会長による乾杯の発声により歓談に移った懇親会は、盛会裡に終了した。

## 日本断熱住宅技術協会

### 第10回総会を開催

2022年6月24日(一社)日本断熱住宅技術協会(田中辰明理事長)は6月24日、第10回総会を協会会議室とオンライン



▲会場出席した役員(左から、佐々木隆専務理事、田中辰明理事長、湯本一二三理事)

により開催した。

冒頭、業務提携を行っている欧州外断熱協会のラルフ・パスカー専務理事から寄せられた祝辞が披露された。祝辞は、「第10回の総会が開催されるとの事、おめでとうございます。欧州外断熱協会は今年の5月19日にチェコのプラハで第6回の欧州外断熱フォーラムを開催いたしました。その節は日本断熱住宅技術協会がオンラインで参加し、日本の外断熱事情を紹介してくださいました。現在我々の住む地球は気候危機に直面しております。水素エネルギーの開発、風力発電や太陽光発電の開発が進められております。しかし何より大切なのは省エネルギーであります。数ある省エネルギー策の中でも大切で効果がるのは建物の断熱であります。特に外断熱は極めて重要であります。日本断熱住宅技術協会と欧州外断熱協会は互いに協力し外断熱の普及に努力してまいりましょう。貴協会の益々のご発展を祈念申し上げます」との内容であった。

議事では、第9期(2021年度)の事業報告、同収支決算報告、第10期(2022年度)事業計画案、収支予算案について審議され、いずれも異議なく承認された。第9期に実施した事業としては、5月19日にチェコ共和国プラハで開催された第6回欧州外断熱フォーラムにオンラインで参加し、「日本の外断熱事情」を報告。また、アマゾンより電子書籍「建築断熱工法とその実例」を出版したほか、各種外断熱情報のYouTubeによる配信、ホームページの充実なども行った。

総会終了後、オンラインで参加者と理事の間で意見交換が行われた。

## 珪藻土・健康壁



自然・大地からの恵み

ecology  
**エコロジー**

和風タイプ

洋風タイプ

### 調湿機能

室内湿度を55~65%に整えようとする力があります。湿度60%を中心に湿度が上がれば吸湿し、下がれば放湿する機能により結露を防ぎ、カビ・ダニの発生を押さえる効果が期待できます。

### 吸着機能

空气中に放散される有害な化学物質等の吸着機能に優れ、シックハウス症候群等の症状の緩和が期待できます。

### 消臭・抗菌機能

消臭剤・抗菌剤配合により、タバコ臭、アンモニア、硫化水素等の生活臭を消臭し、空気中の雑菌の繁殖を押さえる効果が認められます。

### その他の機能

エコロジーは塗り壁の最大の特長である呼吸しつづける壁です。吸音、断熱性の他、洋風タイプは明るくフリー工法により装飾性に優れ、和風タイプは日本の壁の代表聚楽壁・聚楽色は心安らく空間を創ります。又、フラスサを混入したワラ聚楽も作ることができます。

 株式会社キング鈴井商会

本社・工場 名古屋市中村区野田町字中深18-3  
☎ (052) 412-4112(代)  
FAX (052) 412-7281(代)  
URL <http://www.kingsuzui.co.jp>

## 13の専門委員会が活発に活動



▲挨拶する伊東銀平会長

(一社)全国建設室内工事業協会の関東支部(伊東銀平会長)は6月7日、東京・新宿区の京王プラザホテルにおいて、第47回定時総会を開催した。

冒頭挨拶に立った伊東会長は、まず、日頃の支部運営に対する会員および特別会員の協力に感謝の意を表した上で、「全室協関東支部は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一昨年、昨年と集合式の総会が開かれず、書面決済となっていた。今回は3年ぶりでの対面総会で、皆様とお会いすることができ、大変うれしく思っている。関東支部の令和3年度の事業としては、13の委員会を立ち上げ、事業計画に基づき実施し、成果を上げてきた。今年度は事業活動の方向性を確実にし、重要課題に取り組んでいく所存だ。引き続きご協力、ご支援をお願いしたい」と述べた。

議案の審議では、令和3年度事業報告書、令和3年度収支決算書、令和4年度事業計画案、令和4年度収支予算書案などがすべて原案通り可決された。

新年度の事業としては、「関東支部会運営と活動・内装業界正常化のための事業活動」として、13の専門委員会の組織化および基本事項の構築と、活発な活動の推進が挙げられた。

2022年版 通巻30号

**左官総覧**

B5版 280頁  
定価 5,500円  
(本体5,000円+税10%)

好評発売中! ご注文は精工文社まで

☎ (03) 3866-3504・FAX (03) 3866-3858  
URL <http://www.ko-bunsha.com/>

## 生まれ変わった会が新たに成長する10年に



▲挨拶する松山代表理事

NPO法人集合住宅改善センター(集改センター/松山功代表理事)は6月21日、大阪市の大阪建築会館において、第20回通常総会を開催した。

冒頭挨拶に立った松山代表理事は、「20年前に、初代表理事の田村哲夫さんが当会を立ち上げられ、その後を引き継いだ私も、今年の12月で10年代表理事を務めることになる。20年間で、マンションを取り巻く環境、そして当会が管理組合をサポートする環境が激変している。特にこの10年、民間の大きな設計事務所の参画、管理会社のサービスもあり、当会は非常に苦戦を強いられている。当会は、それぞれ独立した者が集まったプロのコンサルタント集団であり、相談のあった所には手厚い、手作りのサービスをこれからも提供していきたい。2020年9月に臨時総会を開催し、Rebornプランとして、事務所も移転し活動している。このコロナ禍でリモートの利点も学び、活用するようになった。今後、生まれ変わった会が、新たに成長していく10年に向け頑張っていく所存であり、ご支援、ご協力をお願いしたい」と述べた。

議事では、2021年度事業報告に関する事項、2021年度決算報告に関する事項、2022年度事業報告に関する事項、2022年度収支予算に関する事項などの議案が審議され、すべて了承、可決された。

新年度の事業実施方針としては、

「この20年間の歩んだ経験と実績を活かし、これまで通り、設立当初の趣旨である理念&目的を変えることなく、社会に貢献できるNPOを目指し、非営利活動にも会員の知恵と技術をもって社会にアピールし続け、『マンション管理組合に提供できるあらゆるサービス』をモットーに、建築士などによる大規模修繕工事、長期修繕計画などのいわばハード面の業務、マンション管理士などによる総会・理事会の運営助言、管理規約改正などの管理組合におけるソフト面といえる業務の2つの柱を一層充実」させていくことを掲げた。

## 新適用方法で工法の拡販を 推し進める

タイルフィックス工業会(中坂勇二会長)は6月17日、東京・中央区のNATULUCK茅場町において、第13回定時総会および技術委員会報告、施工講習会を開催した。

会の冒頭、中坂会長の挨拶の後に行われた議案審議では、第12期(2021年度)事業報告承認の件ならびに収支決算報告承認の件、第13期(2022年度)事業計画(案)決定の件ならびに収支予算(案)決定の件について審議が行われ、原案通り可決成立した。第13期事業計画では、施工技術講習会の開催及び技術指導や新技術・施工技術に関する研究開発、工法拡販の推進、広報宣伝活動、関係書団体との交流及び情報交換などが盛り込まれた。また、任期満了に伴う役員改選も行われ、新会長には中坂会長が再任された。

総会終了後には、技術委員会報告が行われ、新たに制作されたタイルフィックス工法のパンフレットの発行主旨と解説が行われたほか、別途営業用技術資料として同工業会の難波蓮太郎顧問と岩井宗一技術委員長、日本大学工学部建築学科の齋藤俊克准教授の協力の下で制作された「小口平タイル